

ちよぼくり 長九郎稲荷神社

鯛の鳥居(特許取得)のある神社



千葉県銚子市長崎町伏見正一位神社

日本で一番早く(離島・山頂を除く)日の出が見られる神社

御由緒

御祭神

うかのみたまのかみ

宇迦之御魂神(お稲荷様、穀物・食物の神様)

御由緒沿革

今から約350年前の江戸時代の始めに、外川の街や港を開発した崎山治郎右衛門と一緒に紀州から銚子へ来た長九郎という漁師が、魚が大漁に獲れる銚子の海に出会い、ほれ込みました。長九郎は、「自分の子孫をこの素晴らしい地に住ませよう、そして、この大漁がこの先もずっと続いて欲しい」と、子孫繁栄や大漁満足などを願って、京都の伏見稲荷大社^{かんじょう}を勧請し、お稲荷さんを建てました。崎山治郎右衛門により築港された外川港の堤防の石材はこの台地の麓より伐り出された為、当稲荷神は外川および銚子全体の守護として祀られたと伝えられています。地元の人たちは、このお稲荷さんを「長九郎稲荷」と呼んでいましたが、いつしかそれが訛^{なま}って、現在は親しみのある「ちよぼくり稲荷」と呼ばれ、五穀豊穰・大漁満足・海上安全・産業興隆・商売繁盛・家内安全・学業成就・子授けなどにご利益があると信仰を集めています。



めでたい



ご挨拶

御主祭神の名前の「ウカ」は穀物・食物の意味で、穀物の神様で、伏見稲荷大社の主祭神であり、稲荷神として広く信仰されています。稲荷大明神のお使いと言われるのがキツネですが、長九郎稲荷のキツネはメスで、自分の姿は決して見せず、ヒキガエルになって人間の前に現れるそうです。このため、社殿の中には、ヒキガエルの木像が安置されています。また、周囲には大蛇が住んでおり、社殿を守っていると言われていて、近年、蛇の抜け殻が見つかったため、それも社殿の中に納められています。

長九郎稲荷の鎮座する場所は、長崎台で、離島や山頂を除けば、日本で最も早く日の出が見られ、水平線が一望できます。水平線が望め地球を丸く感じていただくことができます。

かつてはボロボロのお稲荷さまだったそうですが、2002年(平成14年)頃に近隣の女性たちが、素晴らしい御利益があるので建て直そうと、皆でお金を出し合って社殿を新築しました。その社殿が、2011年(平成23年)の東日本大震災で壊れてしまいましたので、再建するために皆様のご協力を得て再建の途上にあります。五穀と海の豊穰と銚子地域の発展を願い、そして感謝の場所として愛されるよう誠意努力をしまっている所存ですので、皆様におきまして、ご厚情お願い申し上げます。



交通アクセス

銚子電鉄外川駅徒歩15分

長九郎稲荷神社(ちよぼくりいなりじんじや)
千葉県銚子市長崎町 10744付近
<http://chobokuri-inari.org/>



宮司 鈴木利清

社殿再興のご寄進のお願い 裏面→

社殿再興のご寄進のお願い



東日本大震災で社殿が
つぶれてしまいました。



神様がばらばらに
なっていました。



神様を集めました。

東日本大震災の後、様々な復興事業が行われ、銚子地区の災害区域も整理・復活しつつあります。地域の皆さまも平常の生活に戻りつつあります。

さてこの度、長九郎稲荷神社再興委員会を設立し、社殿及び鳥居の再興を、行うこととなりました。

私どももこの時期に誠意をもって、この再建事業に取り掛かりたいと思います。

復活祭は、平成 30 年 3 月を予定しております。

ここに再興事業に際して、皆様にご寄進のお願いをさせていただきます。

一口 1,000 円で、再興社殿にお名前を奉納し、長寿・健康の祈願を行います。

長九郎稲荷神社再興委員会
会員一同

連絡先 FAX. 03-3258-3332

ご祈祷申込書

お申込 口数	□ (円)
-----------	----------------

お申込日	年 月 日	
フリガナ 団体名		
フリガナ 代表者様名		
フリガナ 住所	〒 ー _____ _____	
お電話番号		